

【用語説明】

アルファベット順

ACP (Advance Care Planning:事前医療・ケア計画・人生会議)	将来起こりうる病状の変化に備えて、医療従事者や患者と家族とともに、患者の医療上の希望、生命維持治療に対する意向、医療に関する代理意思決定者の選定などを行うプロセスのこと。厚生労働省による愛称は「人生会議」
AMR (Antimicrobial Resistance:薬剤耐性)	薬剤耐性のこと。微生物に対して、抗微生物薬が効かなくなること。
BCP (Business Continuity Planning:災害時事業継続計画)	災害などの緊急事態が発生したときに、企業が損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画のこと。
DMAT (Disaster Medical Assistance Team:災害医療派遣チーム)	大規模災害や事故などの現場で急性期（おおむね 48 時間以内）に活動できる機動性を持ったチームで、専門的な訓練を受けた医師、看護師、業務調整員（医師、看護師以外の医療職及び事務職員）などで構成される。
ICT (Information and Communication Technology:情報通信技術)	通信技術を活用したコミュニケーションを指し、情報処理だけでなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称
IMRT (Intensity Modulated Radiation Therapy:強度変調放射線治療)	専用コンピュータを用いて照射野の形状を変化させたビームを複数用いて、腫瘍の形に適した放射線治療を行う照射法
PDCA サイクル (Plan Do Check Action)	Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）の 4 段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善させること。
PSC (Primary Stroke Center:一次脳卒中センター)	脳梗塞に対する血栓溶解療法（rt-PA 静注療法）が 24 時間 365 日対応可能な施設
SCU (Stroke Care Unit:脳卒中ケアユニット)	脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）急性期の患者を、専門医療スタッフがチームを組んで計画的に診療を行う治療室のこと。
t-PA 治療	血管を詰まらせている血栓（血の固まり）を溶かし、血流を再開

(tissue-Plasminogen Activator:組織プラスミノゲン活性化因子)	することで脳の働きを取り戻すようにする血栓溶解療法のこと。
TQM (Total Quality Management)	全員・全体で、医療・サービスの質を継続的に向上させること。

あいうえお順

アウトブレイク	感染症について、一定期間内に、ある限られた範囲内あるいは集団の中で、感染者が予想よりも多く発生すること。
アクシデント	医療事故のこと。医療に関わる場所で、医療の全過程において発生するすべての人身事故で、医療従事者の過誤、過失の有無を問わない。死亡、生命の危険、病状の悪化等の身体的被害及び苦痛、不安等の精神的被害が生じた場合、患者が廊下で転倒するなど、医療行為とは直接関係しない場合、患者だけでなく、注射針の誤刺のように、医療従事者に被害が生じた場合を含む。
アドヒアランス	患者が積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って治療を受けること。
医師事務作業補助者	医師の指示の下で、診断書や紹介状の記載や、医師に代わって電子カルテを入力する職種
遺伝カウンセラー	遺伝医療を必要としている患者や家族に適切な遺伝情報や社会の支援体勢等を含む様々な情報提供を行い、心理的、社会的サポートを通して当事者の自律的な意思決定を支援する保健医療・専門職のこと。
遺伝子パネル検査	数多くの遺伝子を1度の検査で網羅的に解析する検査のことで、数十～数百種類の遺伝子をまとめて調べ、がんの遺伝子異常が見つければ、その異常に対応した適切な治療の選択肢を示せる可能性がある。
インシデント	医療事故に至る前に気付いたこと。患者に障害の発生しなかった事例のみならず障害の発生した事例、過失の見られるものや不可抗力、また結果だけでなくプロセスの問題も含まれる。
院内助産	病院や診療所において、保健師助産師看護師法で定められている業務範囲に則って、妊婦健康診査、分娩介助並びに保健指導（健康相談・教育）を助産師が主体的に行う看護・助産提供体制としての「助産外来」や「院内助産」を持ち、助産師を活用する仕組みのこと。
インフォームド・コンセント	「十分な情報を得た（伝えられた）上での合意」を意味する概念の

	こと。
ウォークイン	直接歩いて救急受診した患者のこと。
開放型病床	診療所から紹介された入院患者を、病院の医師と診療所の医師が一緒に診察を行うことのできる病床のこと。
がんゲノム医療連携病院	遺伝子パネル検査による医療をがんゲノム医療中核拠点病院等と連携して行う施設のこと。
がん登録	がんの発生状況・がん医療の実態を把握し、がん医療の向上や、がん対策の策定・評価に資する資料の整備を目的とし、がん患者について、診断、治療及びその後の転帰に関する情報を収集し、保管、整理、解析する仕組みのこと。
カンファレンス	会議や研究会、協議会、検討会などのこと。
緩和ケア	生命を脅かす疾患による問題に直面する患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的、心理的、社会的な問題、さらにスピリチュアル（宗教的、哲学的なところや精神、靈魂、魂）な問題を早期に発見し、的確な評価と処置を行うことによって、苦痛を予防したり和らげたりすることで、QOL（人生の質、生活の質）を改善する行為のこと。
救急ワークステーション	医療機関と消防機関が連携し、救急要請に対して救急隊員とともに、必要に応じ医師が同乗して現場に出場するなどの方法により、病院内での救急隊員の知識、技術の向上を目的とした「教育」の拠点のこと。
急性期医療	急性疾患または重症患者の治療を 24 時間体制で行う病院のこと。
救命救急センター	救急指定病院のうち急性心筋梗塞、脳卒中、心肺停止、多発外傷、重傷頭部外傷など、複数診療科領域の命に係わる重症な患者に対し高度な医療技術を提供する救急医療機関である。
クリニカルパス	医師、看護師、その他医療スタッフが、共同して実践する治療、検査、看護、処置、指導などの標準的な治療行動計画の流れを示すもの。
後発医薬品	新薬の独占的販売期間（有効性、安全性を検証する再審査期間及び特許期間）が終了した後に発売され、新薬と同じ有効成分で効能、効果、用法、用量が同一であり、新薬に比べて低価格な医薬品のこと。ジェネリックという。
後方支援病院	急性期治療を終えた患者が転院し、回復期治療などを提供する病院のこと。
災害拠点病院	大規模災害における医療確保を目的として、重症、重篤な傷病者を受け入れるなど、災害時の医療救護活動において中心的な役割を担

	う病院のこと。厚生労働省の基準で、原則として二次医療圏ごとに1カ所指定される。救命医療を行うための高度診療機能、被災地からの重症傷病者の受け入れ機能、医療救護班の派遣機能などが求められる。
堺市医療圏がん診療ネットワーク協議会	大阪府がん対策推進条例の促進に向け、堺市二次医療圏における地域がん診療連携拠点病院（大阪労災病院、堺市立総合医療センター）及び大阪府がん診療拠点病院（近畿中央呼吸器センター、ベルランド総合病院、耳原総合病院）、相互の連携体制の整備促進を図るため設置したもの。
堺市こども急病診療センター	堺市救急医療事業団が運営する夜間・休日の急な子どもの内科系疾患に対して外来診療を行う診療施設のこと。
三師会	医師会、歯科医師会、薬剤師会を指す。
周産期医療	妊娠満22週から出生児満7日未満までを「周産期」といい、この時期は母子とも異常が発生しやすく、突発的な緊急事態に備えて、産科、小児科双方から一貫した総合的な医療体制が必要であることから特に「周産期医療」という。
周産期母子医療センター	周産期母子医療センターとは、総合周産期母子医療センターと地域周産期母子医療センターの2つの機能のことをいい、総合周産期母子医療センターとは、母体・胎児集中治療管理室（M-FICU）を含む産科病棟及び新生児集中治療管理室（NICU）を備えた医療機関。常時、母体・新生児搬送受入体制を有し、母体の救命救急への対応、ハイリスク妊娠に対する医療、高度な新生児医療等を担っており、地域周産期母子医療センターとは、産科・小児科（新生児）を備え、周産期に係る比較的高度な医療行為を常時担う医療機関のこと。
重症度、医療・看護必要度	急性期などの患者について手厚い看護の必要性を測るための指標で、急性期一般入院料の算定要件の一つに「重症度、医療・看護必要度」の該当患者割合の基準がある。
重度外傷応需率	救急搬送受け入れ依頼のあった三次救急外傷患者のうち応需した割合
重度疾病応需率	救急搬送受け入れ依頼のあった内因性疾患の三次救急患者のうち応需した割合
手術支援ロボット	内視鏡カメラとアームを患部に挿入し、執刀する医師はロボット操作の台であるコンソールから、3Dモニターを見ながら遠隔操作で装置を動かすと、その手の動きがロボットに伝わり、手術器具が連動して患者に触れることなく手術を行うことができる医療機器

	である。
初期研修プログラム	卒後の臨床研修におけるプログラムのことで、多くが2年間のスケジュールとなっている。現在の臨床研修制度では、その期間中に内科系6ヶ月間以上、救急3ヶ月間以上、地域医療を1ヶ月間以上(2年目でローテート)、外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科より2科目を選択し、各1ヶ月間以上のローテートを実施することが義務付けられている。
精神科身体合併症患者	身体疾患を持ちながら興奮や疎通不良などの精神症状のため一般診療科では対応困難な患者
セカンドオピニオン	自分の診療内容あるいは診療方針について、担当医以外の第三者的な立場の医師に意見を求める、自分の受けている診療が診断の上で、あるいは治療の上で、適切であるのかどうかを判断すること。
第一種、第二種感染症指定医療機関	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において定められた、一類感染症又は二類感染症の患者の入院を担当させる医療機関として都道府県知事が指定した病院のこと。
タスクシフティング	業務を、他者あるいは他職種(主に他職種)に業務そのものを移管・移譲すること。
地域医療支援病院	地域の中核病院として地域の診療所・クリニック等では対応の困難な専門的な治療や高度な検査、手術等を行い「地域完結型医療」の中心的役割を担う病院のこと。
地域医療連携ネットワーク協議会	地域内の病院、医科診療所、歯科診療所、調剤薬局や介護施設などの情報を集約し、共有することで、地域が一体となって患者の医療・介護を支えることができる地域医療連携ネットワークシステムのこと。
地域完結型医療	患者の身近な地域の中で、それぞれの病院や診療所・クリニック等が、その特長を活かしながら役割を分担して、病気の診断や治療、検査、健康相談等を行い、地域の医療機関全体で1つの病院のような機能を持ち、切れ目の無い医療を提供すること。
地域がん診療連携拠点病院	専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の整備、患者・住民への相談支援や情報提供などの役割を担う病院として、国が定める指定要件を踏まえて都道府県知事が推薦したものについて、厚生労働大臣が適当と認め、指定した病院
地域包括ケア	2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的の下で、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように推進している地域の包括的な支援・サービス提供体制のこと。

治験	治療試験の略。新薬の効果を確かめたり、既存の薬剤の効果と副作用の追跡調査をしたり、患者や健康な人に服用してもらい試す臨床試験のうち、特に製薬会社で開発中の医薬品や医療機器を患者や健康な人に使用してもらい、データを収集して有効性、副作用や安全性を確認する試験をいう。治験は国の基準を満たした医療機関で行われる。
低侵襲手術	手術・検査などに伴う痛み、発熱・出血などをできるだけ少なくする医療。例えば内視鏡やカテーテルなど、身体に対する侵襲度が低い医療機器を用いた診断・治療のこと。患者の負担が少なく、回復も早くなる。
ドクターカー	種々の薬剤や器具を装備し、医師及び看護師が同乗して患者を搬送できる救急車のこと。病院到着までに医師による適切な処置及び医療を行うことができ、救命率の向上が期待できる。
脳卒中と循環器病克服 5 年計画	脳卒中と循環器病による年齢調整死亡率を 5 年間で 5 % 減少させること、健康寿命を延伸させることを、大目標と設定し、これらの目標を達成するために、3 つの疾患（脳卒中・心不全・血管病）に対し、5 つの戦略（人材育成、医療体制の充実、登録事業の促進、予防・国民への啓発、臨床・基礎研究の強化）をかかげたもの。
ハイブリッド手術室	手術台と心・血管 X 線撮影装置を組み合わせた手術室のことで、手術室と心臓カテーテル室、それぞれ別の場所に設置されていた機器を組み合わせることができており、カテーテルのみでは治療できない病変に対しても手術を同時に行うことで治療可能である。
ハートコール	急性心筋梗塞、狭心症、急性心不全等の救急疾患に対応するため、救急車からの電話に担当医が直接対応するシステムのこと。
ブレインコール	脳卒中、頭部外傷等の救急疾患に対応するため、救急車からの電話に担当医が直接対応するシステムのこと。
ベッドコントロール	病床を効率的に運用するための管理・調整のこと。
ボトムアップ	現場に携わる担当者が提案や試算を行って上層部へ提議し、上層部がこれを組み上げて承認する、といった流れによる意思決定を指すこと。
ポリファーマシー	「Poly（多くの）」＋「Pharmacy（調剤）」の造語で、単に薬剤数が多いことではなく、薬剤が多いことにより、薬物有害事象につながる状態や飲み間違い、残薬の発生につながる問題のことで、不要な処方や過量重複投与など、あらゆる不適正処方も含む。
メディカルコントロール	救急現場から医療機関へ患者を搬送するまでの間に、救急救命士や救急隊員が行なう応急処置などを、医学的な観点から、その質を保

	障すること。
薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン	WHO の「薬剤耐性に関する国際行動計画」を踏まえ、関係省庁・関係機関等がワンヘルス・アプローチの視野に立ち、協働して集中的に取り組むべき対策をまとめたもの。
リエゾン	一般病棟におけるせん妄や抑うつといった精神科医療のニーズの高まりを踏まえ、一般病棟に入院する患者の精神状態を把握し、精神科専門医療が必要な患者を早期に発見し、可能な限り早期に精神科専門医療を提供すること。
臨床試験	臨床研究のうち、治療や指導などの介入を行って、その結果を評価するもの。